

時計台

夏号

発行所
伊丹市千僧1丁目1番地
総合教育センター

『研修の夏』が今年もやってきました！

一学期には、宿泊行事やトライやる・ウィーク、体育大会などが行われました。子どもたちはこれらの行事を通じて心身ともに大きく成長できたのではないかと思います。先生方におかれては、行事に加え、日々の学習・生徒指導など、息つく暇もない毎日であったかと思われると思いますが、夏季休業期間は、心身をリフレッシュするともに、じっくりと学んでいただきたいと思います。

当センターにおいては、先生方のニーズや働き方にも留意しながら夏季研修を企画いたしました。具体的には、

★所属校にいなながら受けることができるオンライン研修
★時間に縛られないオンデマンドによる研修などです。

また、遠くは、山梨県から講師を招聘したり、東京都や福岡県とオンラインでつながり、遠方で活躍される講師から学べる場も設定しております。ぜひ、お誘い合わせの上、『教職員研修管理システム』からお申込みください。システムには、県が定める資質向上指標における該当箇所も明記しておりますので、昨年度の学びを振り返りながら、今年度の計画を立てていただければと思います。

文部科学省は、教職生活を通じた学びにおける「理論と実践の往還」の実現を求めています。学ぶことで、目の前の子どもの姿は変わって見えるのです。見方・考え方をバージョンアップし、実践が変わることを期待しています。

総合教育センター所長



山下 拓志郎

先生もアップデート

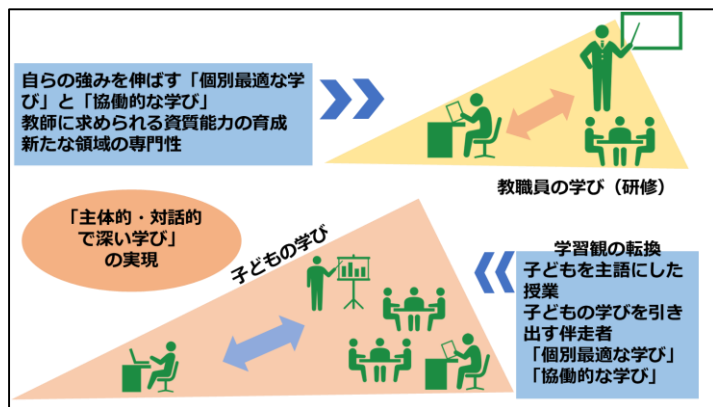
「先生は夏休みに何をしているの?」「夏休みは先生もお休みですか?」先生方にとっては、子ども達に聞かれたことのある質問かもしれません。そんな時、皆さんはどう答えますか?

私は「先生の夏休みは休みじゃない」としか言えなかった時と、「〇〇の勉強をする」と言えた時がありました。振り返ればその差は、目的意識を持って研修に参加していたかどうかだったように思います。学びたいこと、興味を持っていることを明確にした研修参加は楽しいものですが、そう気づいたのは教師になってずいぶん後でした。

ぜひ、自信を持って「夏休みは先生も主体的に勉強しました」と言えるよう、先生方には、夏休みを通してご自身の「アップデート」を行っていただきたいと思います。

その際には、伊丹市立総合教育センターの研修等を活用いただき、「先生方の学び」で「子ども達が学び続けられる」ように一緒に頑張りましょう。

また、今年度より掲示板で研修会の周知をより積極的に行っております。オンライン形式、アーカイブ配信等多様な形での研修を周知してまいります。先生方のライフスタイルに合わせて、ご活用ください。
担当(窪田)



授業づくりのお悩みありませんか？

担当（窪田）

夏季研修講座につきましては
HPもご確認ください。



伊丹市マスコット たみまる

毎日の授業が終わった時にどんなことを考えますか？
授業づくりに関するお悩みがありましたら、ぜひ若手教員のためのスキルアップ講座にご参加ください。今年度は防災教育・ICT活用・授業づくりの3講座を開講予定です。

特にICT活用・授業づくりでは伊丹マイスターの先生方もお招きし、一緒に授業を考える場を企画しています。初任者研修を兼ねていますが、採用5年目までの先生方も参加いただけます。苦手だと感じる部分を相談できるチャンスです。一緒に授業について考えましょう。

※市の初任者研修を兼ねますので、対象教員の方は申込不要です。詳細につきましては、別途案内を送付しますのでご確認ください。

若手教員のためのスキルアップ講座でいっしょに考えませんか。

令和6年度伊丹マイスター

・伊丹マイスターとは、教育に関する専門性を有し、**子どもの主体性等を育む**優れた小・中学校教員

★小学校授業マイスター

★瑞穂小 島谷教諭 ★摂陽小 高峰教諭 ★荻野小 平井教諭

★中学校授業マイスター

★東中 谷本教諭 ★南中 池田教諭 ★北中 柳原教諭

★小学校ICT活用マイスター

★桜台小 有附教諭 ★笹原小 中山教諭 ★鴻池小 的場教諭

★中学校ICT活用マイスター

★西中 有村教諭 ★天王寺川中 宮木教諭



・伊丹マイスターの活動の一つとして、初任者訪問指導にて授業を参観し、授業後初任者にアドバイスをを行っています。

※伊丹マイスターが、可能な範囲の中での活動としているため、参観できる学校には限りがあります。

担当（近田）

総合教育センター 令和6年度（2024年度） 第1回 運営協議会 報告

6月24日（月）に、令和6年度（2024年度）第1回総合教育センターの運営協議会が開催されました。

学識経験者、保護者代表、学校関係者および市教育委員会関係者で構成される委員の方々に向けて、総合教育センターの各事業について、令和5年度（2023年度）の成果と課題や、令和6年度（2024年度）の事業実施方針などをご説明いたしました。

その中で、委員の方々からのご意見やご質問をいただいた内容について、抜粋してご紹介いたします。

Q 地域や学校園の中で不登校児童生徒に対応できる場所を設立できませんか。

A サテライト型の支援も研究しつつ、やまびこにおけるICTを活用した不登校児童生徒への支援について準備を進めているところです。

Q 学習eポータルへの導入により、スクールタクトのデータが引き継げないことについて。

A 学習履歴が引継げるように、努力したものの、スクールタクトのシステム上の仕様からデータを引き継げません。

全くデータを取り出せないというわけではありませんので、代替の方法について学校に周知、支援してまいります。

担当（松本）